

日本設備工業新聞

発行所
(株)日本設備工業新聞社
東京都渋谷区桜丘町10-13
〒150-0031 野元第1ビル
電話 (03) 3496-4774代
FAX (03) 3464-1884
info@setubikogyo.co.jp
年額8,800円(税送料込)

TOTO

ようこそ、光のキッチンへ。
THE CRASSO
ザ・クラッソ

詳細はカタログまたは
弊社WEBサイトをご覧ください。
<https://jp.toto.com>

省エネ・再エネ拡大

国土交通グリーンチャレンジ

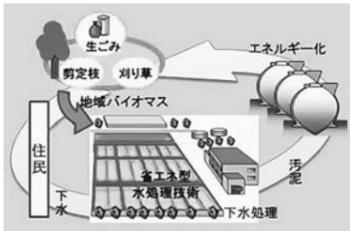
国土交通省は七月六日、グリーン社会の実現に向けて戦略的に取り組んでいく重点プロジェクトを「国土交通グリーンチャレンジ」として発表した。ライフサイクル全体で二酸化炭素(CO₂)の排出量を実質ゼロにする二〇五〇年カーボンニュートラル・脱炭素社会への具体的な取り組みを盛り込んだ。LCCM住宅の普及や下水道バイオオマスの積極的な活用を通じて省エネ・再エネ拡大につながるスマートで強靱な暮らしとまちづくりを推進していく。

LCCM住宅など普及促進

グリーン社会は環境保護で経済成長・雇用創出・社会を意味する。省エネや資源循環を基盤とし、術革新などを実現する。省エネ・再エネ拡大を強力に進めていく。



LCCMの住宅イメージ



地域バイオマス利活用イメージ

グリーン社会は環境保護で経済成長・雇用創出・社会を意味する。省エネや資源循環を基盤とし、術革新などを実現する。省エネ・再エネ拡大を強力に進めていく。

グリーンチャレンジは分野横断・官民連携を基本方針としている。とくに重点的に取り組む六つのプロジェクトとして①省エネ・再エネ拡大につながるスマートで強靱な暮らしとまちづくりの②グリーンインフラを活用した自然共生地域づくり③

自動車の電動化に対応した交通・物流・インフラシステムの構築④デジタルとグリーンによる持続可能な交通・物流サービスの展開⑤港湾・海分野におけるカーボンニュートラルの実現とグリーン化の推進⑥インフラのライフサイクル全体でのカーボンニュートラル・循環型社会の実現——などを打ち出した。

住宅・建築物における省エネ・再エネ対策では太陽光発電パネルや高効率給湯機などを活用したLCCM住宅(ライフサイクルカーボンマイナス住宅)の整備を促進する。建設時・運用時・廃棄時などのライフサイクルトータルでCO₂の排出を全面的に抑制していく。またZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)とZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビルディング)を推進し、年間の一次エネルギー消費量の収支をゼロにする。

快適な室内環境を維持しつつ断熱性能を大幅に向上させ、効率的な省エネ・再エネ設備システムの導入を加速する。

インフラ分野における地域の再エネ導入・利用拡大では下水道施設などを活用した太陽光発電などの普及促進に努めるとともに、下水道バイオマス・下水熱のエネルギー利活用などに力を入れる方針だ。

梅雨前線の影響で発生した線状降水帯の豪雨による静岡県熱海市の土石流災害や山陰地方・九州南部の水災害などで被災された皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。

一刻も早い復旧をかなね復旧・復興をお祈り致します。

(株)日本設備工業新聞社
広告掲載社一同

熟練・若手の技能を見える化

国土交通省 建トレ・デジタル教材作成

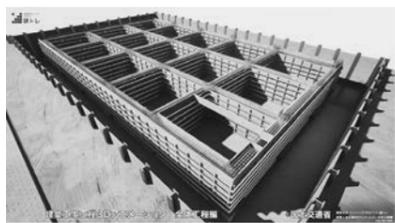
国土交通省は七月五日、建設技能を映像で学べる研修プログラム「建設技能トレーニングプログラム(建トレ)」の内閣府(建トレ)の内容を拡充した。新たにモーションキャプチャーなどのICT(情報通信技術)を活用し、熟練技能

者若手技能者の作業をリアルに比較できるように見える化したデジタル教材を作成。現在Webサイト上で公開している建トレと同様に誰でも無料で利用できる。

建設業では人口減少・少子高齢化による技能労働者の大量離職期が間近に迫っている。人手不足を解消し、新たな担い手を確保・育成するため、技能労働者の継続した教育訓練や生産性の向上が不可欠だ。

建トレは建設業における多様な技能・技術の習得機会を提供することも、ICTの活用によるDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進や効率的な人材育成、建設現場での生産性向上などを目的としている。

関係業界団体・企業、大学、教育訓練施設などの



建築工事工程3Dアニメーション

監修・協力を得て富士教育訓練センターを運営する職業訓練法人全国建設産業教育訓練協会(山梨)が、デジタル教材制作に力を入れている。

スマホ、タブレット、パソコンなどから簡単に閲覧でき、アプリのダウンロードまたは会員登録によって追加機能も利用できる。追加機能では気になった研修プログラムの「MY本棚」への登録などが可能だ。

今回のプログラム拡充では新たにデジタル

教材ライブラリーを開発し、現在公開している三十本に加え、電子ブック教材として中級編十一本、共通編一本を作成。これに伴い教育レベルを初級編(レベル1)相当、中級編(レベル2)相当、職長編(レベル3)相当、指導者編、共通編の五区分に変更した。3Dモデルを活用し、熟練技能者若手技能者の作業の見える化などを促進していく。

NICHIEI INTEC

らく吊X

お問合せ：日栄インテック株式会社

日栄インテック 検索

省施工
省人化



「最速の施工」動画



2021年9月1日
全国一斉
発売!

「施工のスピードが速く、かつ、安全と安心を実現」

ナットを外さなくても取付けできます
パイプの支え作業ゼロ

パイプの可動が容易

ナットの締め忘れ防止
目視確認が可能